

<b>所得税法</b>		<b>講義</b>	<b>教授 田地野 幹雄</b>	
<b>科目カテゴリー</b>	国際ビジネスコースの専門 選択科目 会計ファイナンスコースの 専門選択科目	<b>科目ナンバリング</b>	<b>23220213</b>	

### 1. 授業のねらい・概要

所得税は個人の所得にかかる税金で、ひとに最も身近な税金である。授業では、まず所得税の基本事項を概観し、次いで課税所得および所得税額算定のための計算プロセス、所得税申告に係る諸制度を順次説明する。なお、本科目の履修に当たっては、「租税法概論」を履修しておくことが望ましい。

### 2. 授業の進め方

テキストの内容に沿った講義形式を基本とするが、授業の進捗状況に応じて各回の授業内容が多少前後することがある。また、理解の定着を図るため、原則として、毎回、授業中に演習問題を解いていく。

### 3. 授業計画

1. 所得税総説 2. 納税義務 3. 所得の種類①（利子・配当・不動産） 4. 所得の種類②（事業・給与・退職） 5. 所得の種類③（山林・譲渡・一時・雑） 6. 所得税の課税標準 7. 所得税の課税の特例 8. 収入金額	9. 必要経費①（売上減価、販売費・一般管理費） 10. 必要経費②（減価償却費、貸倒損失等） 11. 損益通算・損失の繰越控除 12. 所得控除①（雑損・医療費・保険料・寄附金等） 13. 所得控除②（寡婦・勤労学生・配偶者・扶養等） 14. 税額の計算、申告・納付・還付等 15. まとめの問題
---	---

### 4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を、配付プリントやノートを使って復習しておく。さらに、テキストの予習も行っておく。なお、これらの準備学修には2時間程度が必要である。

### 5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

試験実施の際、解答のポイントおよび出題意図を試験終了直後に説明する。

### 6. 授業における学修の到達目標

所得税の一連の計算プロセスを理解して、納付税額を算出できる。

### 7. 成績評価の方法・基準

定期試験の結果（80%）及び授業への取組み姿勢（20%）によって評価する。

### 8. テキスト・参考文献

テキストとして税務大学校講本「所得税法」を国税庁のホームページからダウンロードして使用するほか、テキストの概要をまとめたレジュメを配付するので、毎回の授業に必ず持参すること。また、適宜、演習問題のプリント等を配付する。

### 9. 受講上の留意事項

受講者は必ず電卓を持参すること。

**10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無**

該当する。本授業は、国税庁における実務経験を活かして指導する。

**11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連**

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。